

岡山大学

マッチングプログラムコース

OKAYAMA UNIVERSITY
MATCHING PROGRAM COURSE



OKAYAMA UNIV.

世界への扉を開く



MP コースの よいところ！



末石 芳巳

マッチングプログラムコース 教育部長

皆さんは、どんな目的で大学に入学するのでしょうか。皆さんの多くは、それぞれの学部等で、自分の将来の職業のため、知識や考え方を学ぶことを目的としていると思います。しかし、既存の学部・学科・コースなどでは、自分の学びたいことを十分学べないと考えている人もいます。

岡山大学マッチングプログラムコース（MP コース）は、自分の現在の興味や将来の目的のため、教員の助言を受けながら学部や学科の枠にとらわれずに自分自身にあった履修プログラムを作成して学ぶことができるユニークなコースです。また、MP コースでは、現代社会で重要視されている英語力も含めたコミュニケーション能力、さらに自ら考えだす能力を養うことにも重点を置いており、その中で一人ひとりの個性や能力を一層伸ばすことを目指しています。そして、これらの教育過程により、現代ますます多様で複雑になりつつある社会の要請に応えられるような人材を育成しています。

この MP コースは2006年度にスタートした新しいコースであり、その卒業生は、さらに専門性を深めるために大学院に進学したり、社会に出て活躍したりしています。また、これまでの就職希望者は昨今の不況下でありながら就職活動を有利に進め、多くの学生が早い段階で希望の企業への内定を得て就職することができています。これは MP コースで学ぶことができる広い視野にたった専門性ととも、コース独自の教育の中で培われるコミュニケーション能力、チャレンジ精神、独立心、さらには創造性などが高く評価されたためと思われる。一方、卒業後は大学院へ進学し、さらに専門性の高い教育を受けている学生も多数います。

好奇心にあふれた人、考えることが好きな人、他人と少し違うことがしてみたい人、学部の枠を越えてさまざまな分野のことを学びたい人、色々な分野に興味があり志望分野を決めかねている人は、ぜひ MP コースの入学試験に挑戦してください。MP コースの入試は、単に知識を持っているかだけではなく、知識を生かすことができる能力を持っているか、MP コースの目指す教育を受ける能力・資質を持っているかをみます。2日間ある入試は少しハードかもしれませんが、多くの受験生が楽しかったという感想を寄せてくれており、いい経験にもなると思います。

What is MP?

マッチングプログラムコース（MP コース）は、幅広い分野に興味を持ち、自分で考える力を育んできた生徒を受け入れ、先進科学分野・国際連携分野などで活躍する人材を育成するため、岡山大学における戦略的構想の下に生まれた新しい教育コースです。様々な分野に興味を持ち、意欲のある学生を育てるためには、入学時や就学時に起こるミスマッチを解消し、目的指向力を高めることが何よりも重要です。学生が担任やアカデミック・アドバイザーの指導の下で、将来の目標に対するマッチングを図ることにより、学生の目的指向力を高め、国際社会で役に立つ英語や課題探求型授業などの先進的教育プログラムを実践しています。卒業研究も、学生各自の目標・目的に合った学部・学科（理学部、農学部、教育学部など）を選び、これらの学部教員の指導のもとで行うことができます。

MP コースで学ぶことにより、現代社会で求められている応用力や積極性を鍛え、課題解決能力を培うことができます。特色のある授業内容と整った学習環境の中で、物事を一方向からだけ見るのではなく、多方面から考え、新たな発見をする感性を養うことができます。

進路としては、それぞれの専門領域に関連した分野、すなわち研究、教育、スポーツ関連、生涯教育、福祉、介護、国際関係、情報関連などが考えられます。また、卒業研究に関連した岡山大学の大学院はもちろん、外国を含めた大学の大学院への進学の道も大きく開かれています。

MP コースでは一人ひとりの興味関心に応じた将来設計を行う教育プログラムを自ら組み立てられることが大きな特徴です。

CONTENTS

MP コースの特徴／MP 独自の授業等……………2-5

キャンパスライフ……………6-7

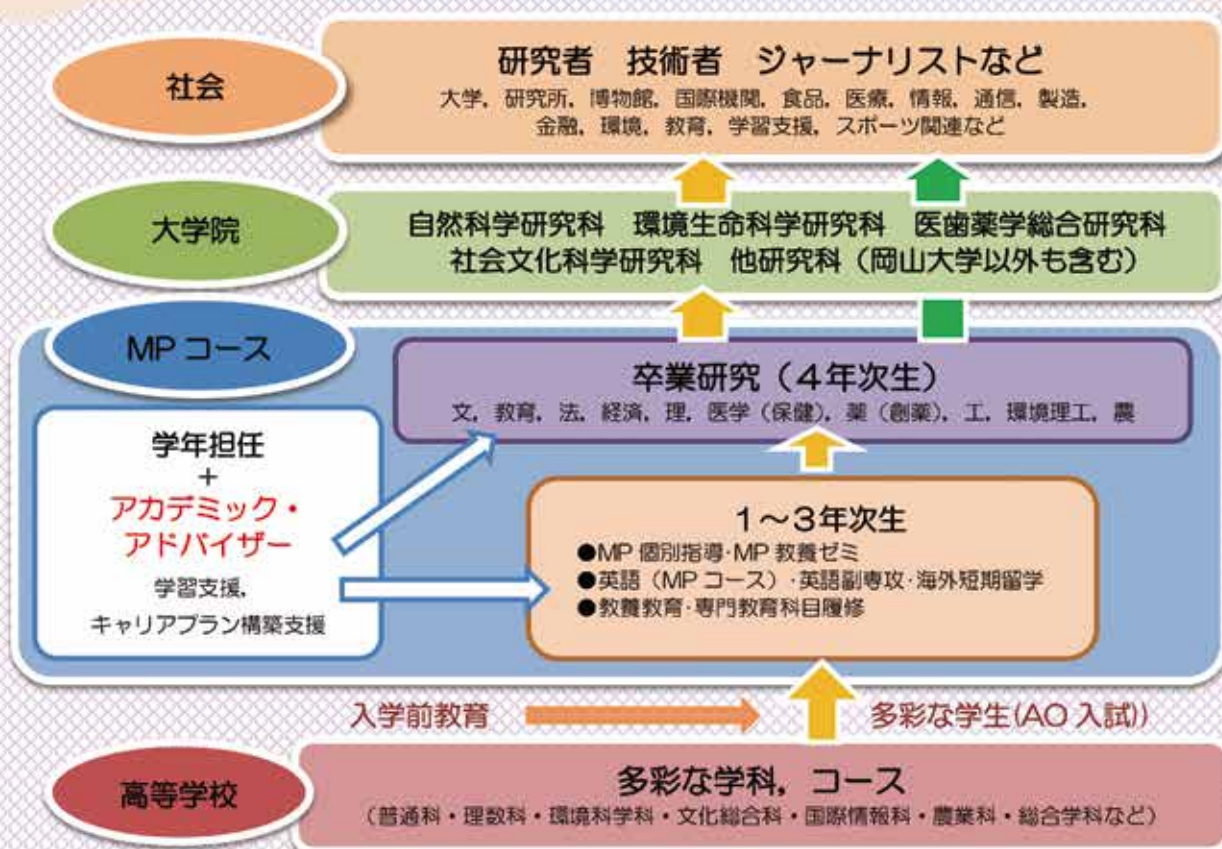
海外留学……………8

語学研修／秋入学……………9

卒業研究／就職状況／卒業生からのメッセージ……………10

募集要項／3つのポリシー……………11

MP コースの特徴



学部横断
カリキュラム

MPコースの最も大きな特徴は学部横断型の授業が受けられるという点です。

一人ひとりの興味関心に応じた将来設計のため学部や学科の枠にとらわれず、自分に最も適した履修プログラムを自ら作成して学ぶことができます。そのため、履修プログラムは学生一人ずつ異なり誰一人として同じ時間割ではありません。学部横断型の授業の履修は学生それぞれの将来の目標に対するマッチングをはかることができます。

MP コース独自の授業

MP コースの授業は基本的に約 16 人という少人数で行われます。また、授業内容は様々な学部や外部からの先生方を招き講義を受けたり、議題に対してプレゼンテーションや討論を行ったりと従来の「知識伝授型」の授業ではなく、学生が主体的に発言する授業が多いため、課題発見・解決、発想力、表現力が身につきます。

MP コース独自の授業（一例）

- ・ **MP 教養ゼミ**

他学部や外部の先生から講義を受け、その議題についてプレゼンテーションや討論を行います。

- ・ **英語（MP コース）**

発音などの実践的な英語力を伸ばし国際的に活躍できるための準備をします。

ひとこと

MP コースの学生は皆それぞれ進路や時間割が違うため、その分野にあったアカデミックアドバイザー(AA)が一人一人につきまます。AA から一週間に一回の「個別指導」で指導を受けますが、毎週顔をあわせることによって履修や進路のことだけでなく、大学生活の不安や悩みも解消することができました。

私は、動物の環境保全について学びたいので、現在、環境理工学部、理学部、農学部の授業を履修しています。個別指導の際は、環境保全に関する内容を中心に最近のニュースや話題の内容についても AA と一緒に議論しています。AA と議論することで、あらゆる視点から物事を深く考える力を身につけています。個別指導を通して、自分が何を学んでいきたいのかがより一層明確になり、将来像が形づけられました。今後も、AA からのサポートを受けられるこの環境を最大に活かして、将来像に近づきたいと思っています。

2 年生 中田咲愛

アカデミック アドバイザー

MP コースに入学すると、各学生の

興味分野を専門としている各学部の教員がアカデミックアドバイザー(以下 AA)としてつきます。MP コース生の時間割には「MP 個別指導」が含まれており、週一回 AA からマンツーマンの指導が受けられます。その内容は進路に向けての履修指導や学業の進行状況の報告、論文の読み合わせを行うなど多岐にわたり、大学生活をサポートします。

キャンパスライフ

1年

※本学では、平成28年度から60分・クォーター制導入となるため、本パンフレットに掲載している時間割から、形態が変更となります。



丹下 怜佳

愛媛県立今治西高等学校出身

私は高校生の頃から、国際関係について興味があり、大学で学びたいと思っていました。しかし、国際関係と一言でいっても、政治や経済、異文化など様々なことが絡み合っていると思います。それらすべてのことを深く学びたいと思い、学部横断型で授業を履修することができるMPコースに進学しました。

今後は、文学部を中心に、法学部や経済学部の講義を履修したいと考えています。また、MPコースでは、文系、理系を問わず様々な学部の授業を履修することも魅力の一つだと思います。私は文系ですが、環境問題に関しても興味があるので、理系学部の授業も積極的に履修していこうと考えています。

	月	火	水	木	金
1	キャリア形成 ＜基礎講座＞I 一般教養		祭・芸能・音楽 からみた世界 一般教養		フランス語初級I (読本) 一般教養
2		自然科学入門 (MPコース) 一般教養		生活の中の 微生物 一般教養	途上国開発と 環境 一般教養
3		フランス語初級I (文法) 一般教養			
4				MP教養ゼミ (コミュニケーション) MP	総合英語4 一般教養
5		総合英語3 一般教養	英語 (MPコースI) MP		

小田上 晃士 2年

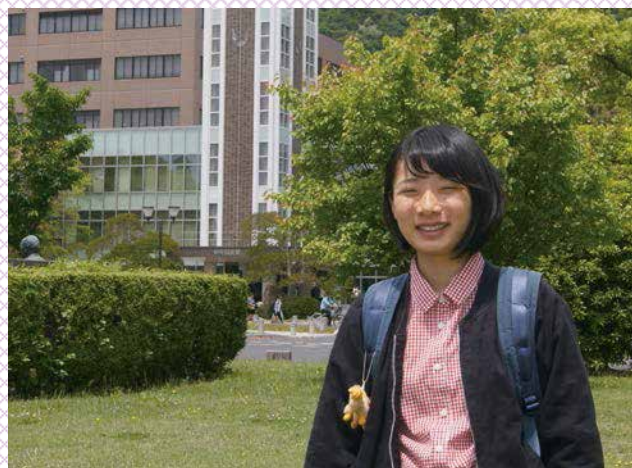
岡山県立倉敷古城池高等学校出身



私は現在心理学に興味があり、文学部の心理学を専攻したいと思っています。文学部の心理学関係の講義は2年前期では取れる数が少なかったのですが、自分が興味ある授業も受けるようにしました。

私は高校時代に理系で進んでいて、MPコースの入学試験も数学を受けました。ですがMPに入って、自分は、本当は文系の方に進みたいということに気づきました。このようにMP特有の学部横断型の特性がこの学部の強みだと思います。

	月	火	水	木	金
1	情報化と 職業倫理 理学部				
2		心理学概説1 文学部		彫刻I 教育学部	
3			MP教養ゼミ (日本語) MP	リーダーシップ論 経済学部	
4	総合英語5 一般教養	人格心理学 教育学部	英語 (MPコースII) MP		比較宗教史 講義 文学部
5	教育統計学I 教育学部	総合英語5 一般教養			



小山 春香 2年

京都成章高等学校出身

祖父が農家を経営していたということもあり、幼い頃から植物や環境問題に携わる仕事に就きたいと考えていました。しかし、植物や環境問題と一言でいってもその問題を解決するためには様々なことを学ぶ必要があると私は考えます。今期は農学部への授業ばかりですが、1年生の時は環境理工学部や経済学部の授業もしていました。オーダーメイドで授業が組み立てられるMPだからこそ自分の学びたいことを学んでいるのだと思います。

自分の行く先を自分でしっかりと考える必要があり、履修登録のたびに他の学部の学生よりも考え、行動し、違う分野を学び違う目標を持った仲間から刺激を受けることで日々成長できているなど実感しています。私に多くの興味や道を与えてくれる素敵なコースです。

	月	火	水	木	金
1	情報化と職業倫理	園芸学	農業経営学		植物生理学
	理学部	農学部	農学部		農学部
2	栽培学	植物形態学		農産物生理学	植物遺伝学
	農学部	農学部		農学部	農学部
3		フィールド基礎実習	MP教養ゼミ(日本語)	するスポーツ演習	植物病理学
		農学部	MP	一般教養	農学部
4	総合英語5	フィールド基礎実習	英語(MPコースⅡ)	実験実習指針	
	一般教養	農学部	MP	農学部	
5		フィールド基礎実習			
		農学部			

3年

北脇 真岐

和歌山信愛女子短期大学附属高等学校出身

私は脳科学と遺伝子について学びたいと思い、多角的に学べるMPコースを選びました。1回生の頃は文系、理系を問わず6学部から授業を履修していましたが、現在は理学部の生物学科の授業をメインに遺伝子について学んでいます。

私は、このコースに入学したことで、世界へ目を向けられるようになりました。特に私の学年は海外志向の強い人が多いため、良い刺激をたくさん受けています。そしてこれこそ、英語教育に力を入れているMPコースの魅力の一つであると思います。



	月	火	水	木	金
1		生体制御学Ⅲ			
		理学部			
2	基礎物理学Ⅰ	分子生物学Ⅱ	神経生物学Ⅱ		
	理学部	理学部	理学部		
3			動物生理学	生物学実験C	生物学実験C
			理学部	理学部	理学部
4				生物学実験C	生物学実験C
				理学部	理学部
5			MP教養ゼミ(倫理・哲学)	生物学実験C	生物学実験C
			MP	理学部	理学部

海外留学

3年

脇坂 菜緒

岡山県立岡山芳泉高等学校出身



私は現在、EPOK という交換留学制度を利用して、西オーストラリア大学に留学しています。大学入学以前は、留学にそれほど興味は持っていなかったのですが、このような交換留学に挑戦しようと思ったきっかけが、1年生の春休みに参加したアデレード語学研修でした。MP コースは単位互換や補助金のシステムが整っており、それを利用して語学研修に参加することを決めました。その語学研修が初めての海外経験だった私は、驚くほどの刺激を受けました。そして帰国後、交換留学に挑戦することを決め、勉強に励みました。

EPOK 交換留学生として選ばれる過程は決して簡単なものではありませんでしたが、MP コースの海外に興味のある友達や、アカデミックアドバイザー、MP コースの教授の方々に支えられ、現在こうして留学することができています。

交換留学生としての生活は、思うようにいくことばかりでなく、自分の英語スキルがまだまだなことを実感しています。しかし、それ以上に、様々なところで自分の成長を感じることが多く、密度の濃い毎日を送れています。私は、こうして自分が満足できる大学生生活を送れていることを誇らしく思います。そしてこのきっかけを与えてくれた MP コースや、応援して下さった教授の方々など、多くの人たちに感謝しています。私は、MP コースに入学して良かったと心から思います。あなたもぜひ、MP コースで、あなただけの充実した大学生活を創ってみませんか？



語学研修

In Australia

あっという間の5週間で、色々あった毎日ですがどれも貴重な経験でした。日本人の友だちとも授業中は英語で話さないといけないですし、街を歩いていけば英語しかきこえないのが当たり前空間です。もともと英語しかきこえないという感覚が好きでしたが、その空間にいることに落ち着きを感じるようになりました。友だちとどこかへ出かけたり、現地のスイミングクラブで一緒に練習したりと積極的に行動することで、時間を大切に充実したものにすることができました。ホストファミリーや現地で交友関係を築けた人たちとこれからも連絡を取り合って、また再びアデレードへ帰りたいです！

2年

船越 香帆

福岡県立香住丘高等学校出身



2年

金子 航

ISS International School 出身



私は、岡山大学に国際バカロレア（IB）入試で秋入学しました。岡山大学は、6月卒業のIB生向けに、新年度まで待たずに10月に入学することができます。また、岡山大学には L-café という気軽に英語を話したり、留学生と交流したりできるコミュニケーションスペースがあるため、日本の大学に進学しながらも、帰国子女の英語力を維持できる環境が整っています。

秋入学

私は環境に興味があります。マッチングプログラムコース（MP）に所属することで、環境理工学部と農学部の両方の授業を履修することができるため、多角的な視点から環境について学習しています。MPでは、生徒一人一人にアカデミックアドバイザー（AA）と呼ばれる、個別指導をしてくれる先生がつきます。私は、AAが主催する児島湖エコウェブというイベントに参加し、環境に対する実践的な学習を、大学院生や地域の方たちと共に行いました。AAの先生と親しくなることで、進路相談だけでなく、このような機会を提供してもらえるのは、MPの利点の一つです。また、私は副専攻でグローバル人材育成特別コースに所属しています。スタディーツアーで一週間ほど訪れたミャンマーでは、現地の人々の暮らし、教育環境、経済状況などについて学習しました。岡山大学では、このような海外実習の機会も多く存在するので、充実した学生生活を送ることができます。

卒業研究

MPコースの学生が行う卒業研究は、目的に合った学部・学科を選び、これらの学部教員の指導のもとで行います。

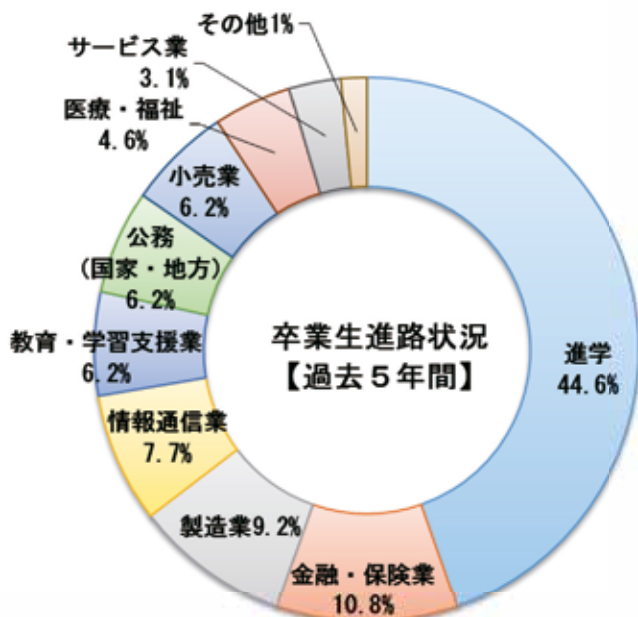
課題研究をおこなった学部別人数（名）【過去5年間】

	H22年度卒業	H23年度卒業	H24年度卒業	H25年度卒業	H26年度卒業	計
文学部	0	0	2	1	0	3
教育学部	1	3	1	3	5	13
法学部	0	1	0	1	1	3
経済学部	1	0	1	1	0	3
理学部	14	6	2	1	4	27
医学部	0	0	0	0	0	0
歯学部	0	0	0	0	0	0
薬学部	0	1	0	0	0	1
工学部	0	1	2	0	1	4
環境理工学部	0	1	0	0	2	3
農学部	0	0	4	5	3	12
スポーツ教育センター等	0	0	0	2	1	3
計	16	13	12	14	17	72

主な卒業論文テーマ(平成 26 年度)

- ・正当防衛と過剰防衛の限界(法学部)
- ・海外における日本食の現地化-ベトナム・フエ市を事例に-(環境理工学部)
- ・ラット中枢神経系におけるガストリン放出ペプチド受容体の局在と機能(理学部)
- ・フィギュアスケート選手の傷害に関する発生要因および予防・早期回復戦略の考察(教育学部)など

就職・進路状況



主な就職先

- ・横浜市役所
- ・マイナビ
- ・ベネッセコーポレーション
- ・株式会社天満屋
- ・東洋産業
- ・国立印刷局
- ・三井住友銀行
- ・富士通
- ・野村證券株式会社
- ・みずほフィナンシャル
- ・日本政策金融公庫
- ・東京国税局
- ・美作大学
- ・鳥取市立国府中学校

Voice

－卒業生の声－

坪井 遥司

株式会社カワニシホールディングス

MPコース第6期生(平成26年度卒業)



私の大学生活はとても充実したものでした。もともと本学 MP コースへの入学を希望した理由は、自分で自由に時間割を組むことができることに魅力を感じたからです。私は小学生からフィギュアスケートを始め、大学卒業に至るまで競技を中心とした生活を送っていました。大学在学中には競技に邁進しながら、学業にも励むことができ、文武両道を努めることができました。また、MP コースの大きな特徴である学部横断型カリキュラムのおかげで、私の見地は広がり、物事を多面的に考える力を養うことができました。

皆さんも MP コースで、充実した大学生活を送ってみませんか？MP コースで学ぶことは必ず大きな財産になります！

募集要項



◎AO入試

- 募集人数 16名
- 出願資格 選抜要項・募集要項または岡山大学ホームページを参照してください。
- 選抜方法

●第1次選抜

- 出願書類（調査書・自己推薦）による書類選考を行う。
 - 第1次選抜の合格者は、原則として、募集人員の3倍程度とする。
 - 志願数が募集人員に対する予告倍率（3倍）を超えた場合は、第1次（書類）選抜を行い、その合格者についてのみ第2次選抜を行う。
- 志願者調査書の評点は数学・英語・国語を重視する。自己推薦書の内容は自己アピール及び活動記録である。その他の活動実績（生徒会活動・スポーツ活動など）も評価する。

●第2次選抜

第1日

- 講義に関するレポート 400点
（英語に関する課題が一部含まれることがあります。）
講義を受講し、与えられた課題（問題）に対してレポートを作成する。
講義時間とレポート作成時間を合わせて120分、これを2回行う。

第2日

- （1）小論文 300点
数学・物理・化学・生物・地学・保健体育の6題から1題を選択し、小論文及びポスターを180分で作成する。
- （2）発表及びグループ討論 200点
選択した問題に応じて6人程度のグループに分かれ、発表（一人6分程度）及び討論（40分程度）を行う。
- （3）個人面接 100点
各個人に対し、20～25分の面接を行う。

※詳細は、募集要項またはMPコースホームページを参照してください。

◎国際バカロレア入試

- 国際バカロレア入試については、募集要項または岡山大学のホームページを参照してください。

3つのポリシー

【ディプロマポリシー，カリキュラムポリシー，アドミッションポリシー】

岡山大学ホームページの以下URLをご覧ください。

<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/undergraduate.html>

【マッチングプログラムコースアドミッションポリシー】

《AO入試 マッチングプログラムコース（MP）》

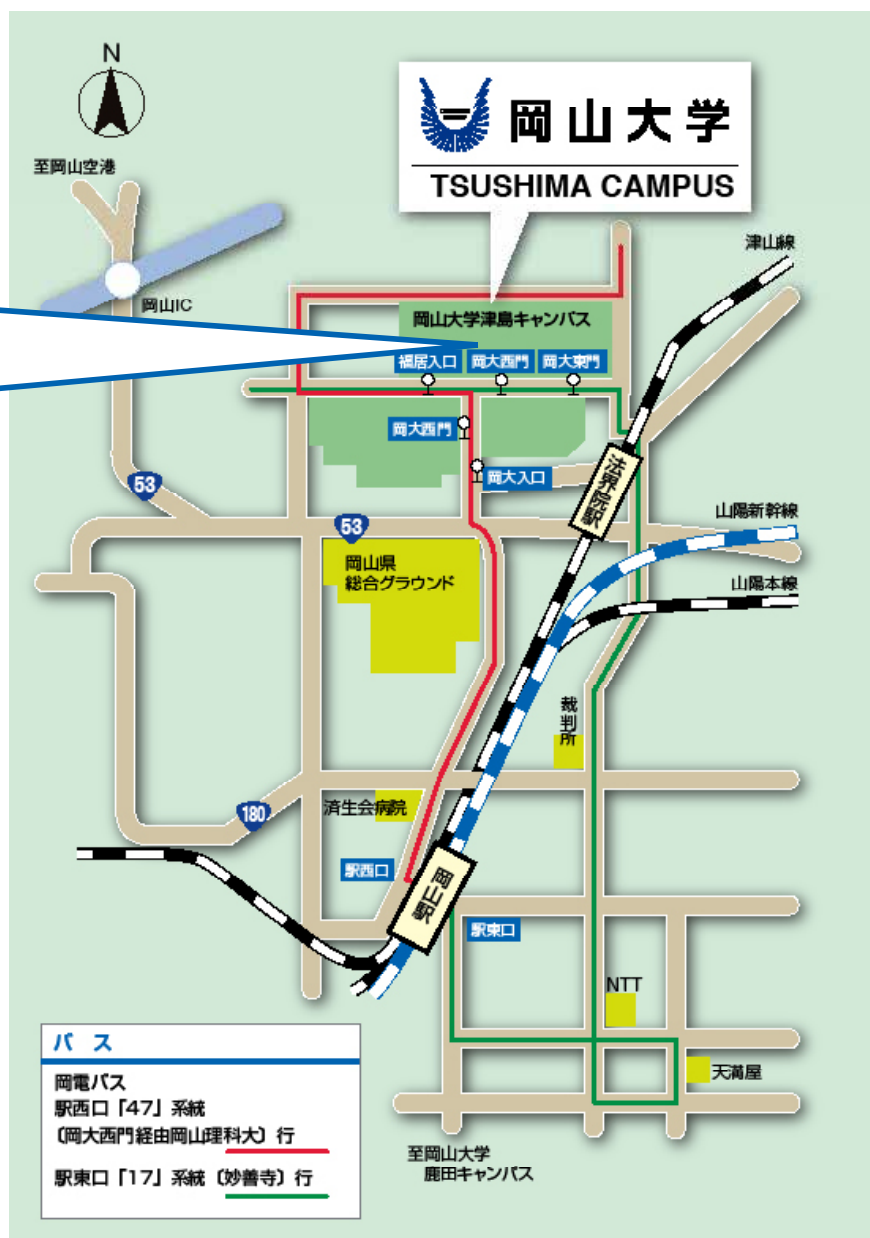
岡山大学では、本学及び学部・学科のアドミッションポリシーの記載形式などを見直しています。見直しを行ったアドミッションポリシー等は、今後、本学のホームページに掲載しますので、確認をお願いします。

MPコース (岡大西門正面理学部棟内)

JR岡山駅東口から岡電バス
「岡山大学・妙善寺」行→「岡大西門」

JR岡山駅西口から岡電バス
「岡山理科大学」行→「岡大西門」

JR津山線「法界院」駅→ 徒歩10分



このパンフレットは毎年、MPの学生が主体となりデザインや編集を行っています。
 たくさんのご協力のもとに本誌が出来上がりました。ご協力頂いたすべての皆様に心より
 感謝致します。そして、この本誌を手にとってくださった皆様のお力添えになれば幸いです。
 ご覧くださり、ありがとうございました。

統括：河崎・小山・高垣・中田



学 章

岡山大学 マッチングプログラムコース

〒700-8530 岡山市北区津島中3丁目1番1号

お問合せ窓口：岡山大学理学部教務学生係内MPコース担当

Tel.086-251-7763 Fax.086-251-7777

E-mail mpcourse@science.okayama-u.ac.jp

<http://www.mpc.okayama-u.ac.jp/>

岡山大学マッチングプログラムコース

検索